

東光寺たより 14

大先輩の道を辿る♪

丹後方面へと♪前回の続き

せっかく法事で京都に来たのですから♪そう
だここは丹後方面へ行こうと思い立ち行くの
です。高速で90分くらいでしたか？ようやく
海の見える地域まで来る事が出来ました。住
職が下積み時代に丁度この地に托鉢で参らせ
ていただいた事がふと思い出され、思わぬ形
で舞い戻った、思い出す事が出来たと感じ入
りました。〴〵想いではモノクローム、色を点
けてくれ、もう一度華やいでくれ・・・という
歌詞をふと思い出しました。もしかしたら
日々の日常がモノクロに見えていたのかもしれ
ませんね。原点に立ち返る事が出来て、色
を点ける事が出来た。だから前に進んでいけ
ると信じる事切であれと更なる精進を誓う住
職でした。



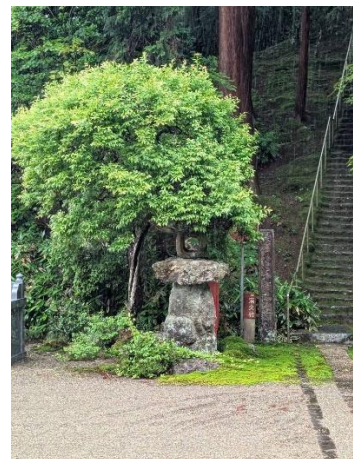
丹後方面は久美浜に〇〇寺というお寺の此度
遷化された和尚さんは住職にとりまして遠い
親戚並びに竹の先輩でありました。近くを通
った際に時間の都合でお参りは出来ませんで
したが、閑に合掌して想いを馳せる住職でし
た。写真はネット上より拝借したものです。

合掌



教区の花園大会に参加致しました♪

6月某日、教区内の伊自良は“富士山東光寺”
に於きまして花園大会が厳修され住職もお参
りしてきました。当日は降りしきる雨の中で
したが大勢のオーディエンスに恵まれ盛会で
した。尚、当山の婦人部会長さんがスタッフ
として参加の由にて、その姿を拝見する事が
出来ました。真にお疲れ様でした。



竹と共に歩む ♪

竹を吹くようになって 30 年以上経ちますが先日京都にて大学の邦楽部の OB 會が開かれ住職は出席する事は叶いませんでした。謂わば、住職は大学の邦楽部で竹を吹く道を歩みだした訳でして・・・世の中に数多の楽器が存在する中何故に竹を選んだのか？これに関しては諸説ありますが、先々代の住職が同じ大学で竹を吹いていた事実。まさにこれに尽きるのではなかろうか？と思えてならないのです。故にこの人を住職は追い続けているのではないか？と思うのであります。

大学 2 回生 7 月七夕の頃 ♪



とある方の 1 周忌法要に際して ♪

故人は座禅会初期メンバーの方で此度 1 周忌の法要を勤めさせていただきました。座相が綺麗な方でお手本となる方でした。そして今も脈々と座禅会は毎月 15 日に行われており今後も続けていく事が即ち故人への供養になるのだと信じ雨も降りしきる中、当家を後にしたのであります。



諸行無常の響きあり ♪

日本の寺院等では、外見の似ているナツツバキ（夏椿）を「沙羅双樹」の代用として植えています。当山に於きましても以前は咲いておりましたが枯れてしまい今はその姿を見る事が叶いません。画は以前の物です。平家物語の一節にこの沙羅双樹の花の色というのが、世の中のあらゆることは無常なんだと。咲いてる頃はそんな事感じもしなかったのですが、いざ無くなってみていささか寂しい気がする住職です。夏が来れば思い出す。

沙羅双樹の花

